

丹波篠山市 A I デマンドバス導入事業

丹波篠山市 創造都市課

目次

- 1 丹波篠山市について
- 2 丹波篠山市の公共交通の現状と課題
- 3 令和6年度に導入したデマンドバスについて
- 4 デマンドバスの運行実績について
- 5 デマンドバス運行エリアの拡大について
- 6 「交通空白」解消緊急対策事業
- 7 市の目指すべき将来の公共交通ネットワークの考え方

丹波篠山市の概要

人口

38,838人

※2025年3月末現在

面積

377.59km²

400～800mの山並みに囲まれた篠山盆地

アクセス

丹波
篠山



京都
大阪
神戸

京阪神から
50km圏内

特産

黒大豆、黒枝豆、山の芋、
栗、ぼたん鍋、丹波焼

市名

篠山市



丹波篠山市 誕生

1999年多紀郡4町
が合併して誕生

2019年住民投票により
市名変更

その他

2015年 ユネスコ創造都市ネットワーク 加盟
日本遺産 認定

「丹波篠山デカンショ節 民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶」

「きっと恋する六古窯 日本産まれ日本育ちのやきものの産地」



丹波篠山市の公共交通の現状と課題

丹波篠山市 公共交通 MAP

デマンドバス

丹波篠山市コミュニティバス

フリー乗車区間

ウイング神姫

ウイング神姫 バス停

京阪京都交通

京阪京都交通 バス停

JR 福知山線

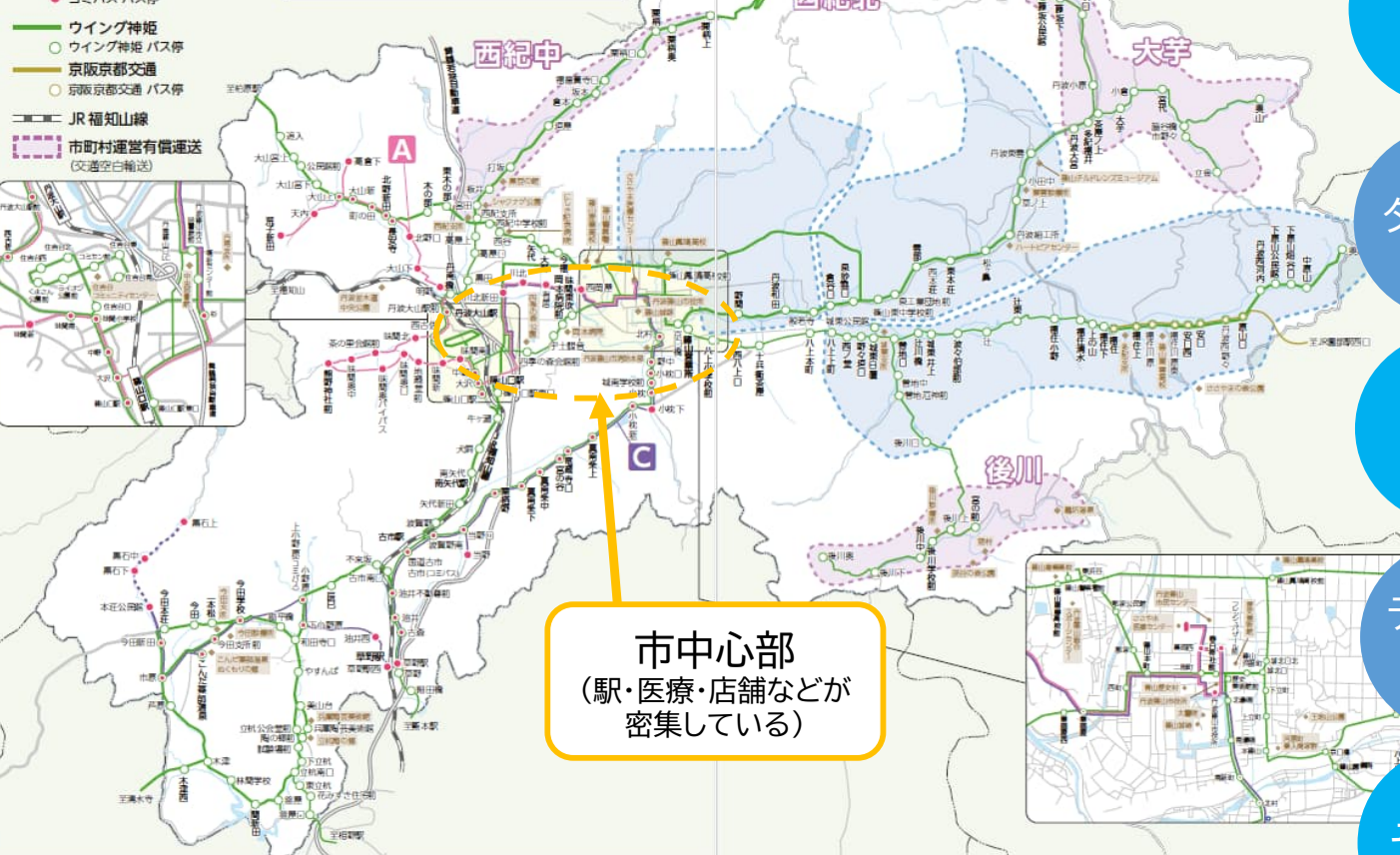
市町村運営有償運送 (交通空白輸送)

乗り方

乗車の合図は、道路の左側の安全な場所で、早めに手を挙げて合図してください。

降り方

降車の合図は、降車場所の50m くらい手前で降車ボタンを押してください。



市中心部
(駅・医療・店舗などが
密集している)

鉄道

JR 福知山線

バス

(株)ウイング神姫
京阪京都交通(株)
コミュニティバス

タクシー

日本交通(株)
福祉タクシー

有償
運送

交通空白輸送 4地区
福祉輸送

デマンド
バス

AIデマンドバス「のり～な」
(R6.11.1から運行開始)

その他

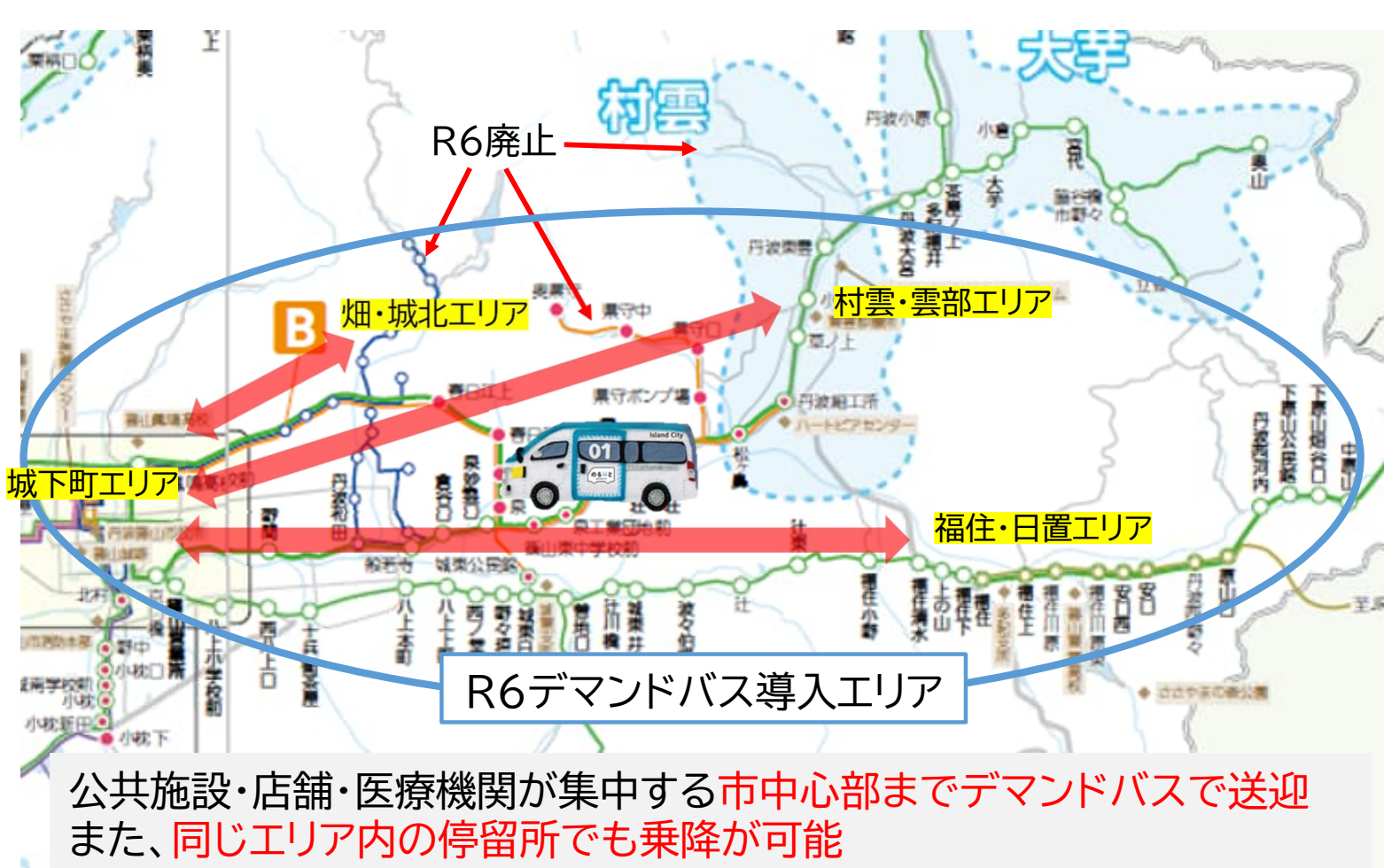
グリーンスローモビリティ
シェアサイクル
レンタルEVトウクトウク

丹波篠山市の交通課題

- ・市民の移動は自家用車による移動が主であることから、公共交通の利用者が少ない。
- ・市の郊外のエリアから中心部に行く交通手段が少なく、自家用車が無ければお買い物や医療機関に行くことが難しい。
- ・バス停までが遠いことや便数が極端に少ない地域がある。また、タクシーの拠点が市中心部にしか無いことから、郊外のエリアは迎車に多くの時間と費用がかかるなど、少なからず市内全域に交通空白地が散見されている。

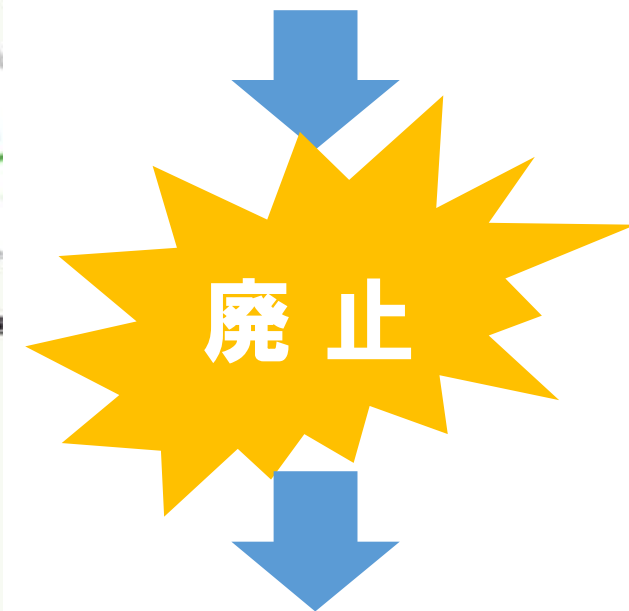
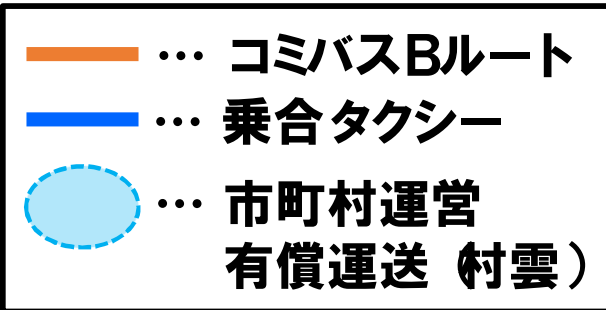
令和6年度に行った取組（市東部エリアにデマンドバスの導入）

既存のコミバス・乗合タクシー・有償運送を廃止し、デマンドバスに1本化！



市内公共交通の再編

市の東部エリアについて、もともと、コミュニティバスBルート、乗合タクシー、市町村運営有償運送（村雲）が運行していましたが、バス停までが遠い、中心部へ行くまでの乗車時間が長い、便数が少ないなど様々な課題がありました。また、利用者数も年々減少傾向にあったことから、既存の3つの公共交通を廃止し、デマンドバスに1本化して運行を行うこととしました。



新しい公共交通
A デマンドバス
の導入

現在運行中のデマンドバスの概要

1. 名称

デマンドバス「のり～な」

※公募により令和7年3月からデマンドバスの愛称が「のり～な」となりました。

2. 運行方式

道路運送法第4条許可による区域運行
(予約制自由経路ミーティングポイント型)

3. 運行日数

週5日(月・火・水・金・土)

※木・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)は運休

4. 運行時間帯

運行時間帯：8：00～16：00

5. 予約方法

	電話 	アプリ・LINE  
予約手法	専用番号に電話	スマホから入力
予約可能時間	月火水金土 9：00～15：00 ※乗車日の6日以内であれば予約可能	24時間365日いつでも可能 ※乗車日の6日以内であれば予約可能
乗車情報	予約された際に、オペレーターから連絡 (乗車前に電話オペレーターからの連絡はございません)	アプリでいつでも予約確認が可能 乗車前にSMS通知にてお知らせ

6. 運賃

200円または500円(現金のみ)

7. 使用車両及び台数

使用車両：ワンボックス車両 2台(定員8人)
タクシー車両 1台(定員4人)
予備車(ワンボックス) 1台

8. 運行事業者

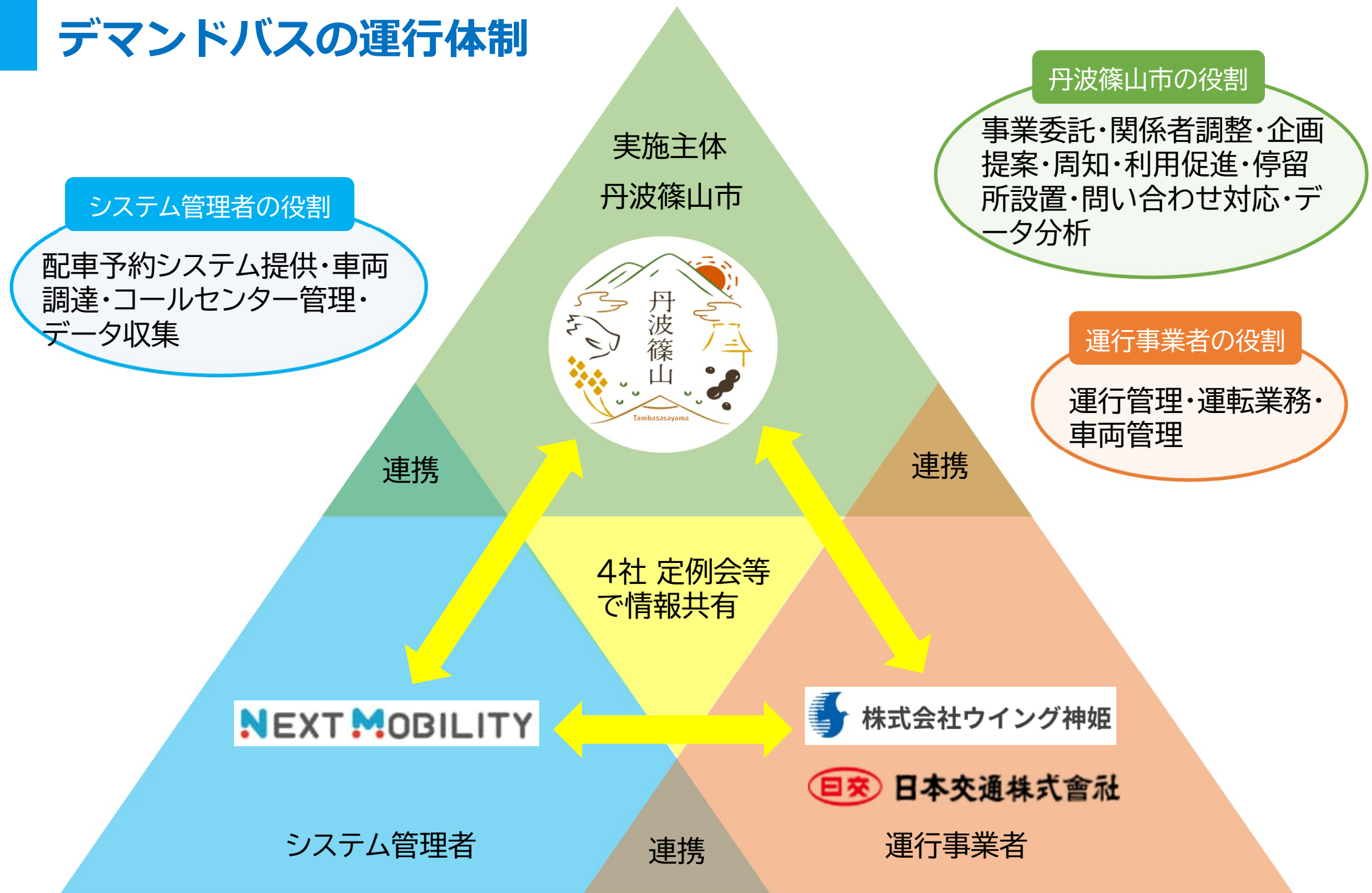
福住・日置エリア：(株)ウイング神姫様
村雲・雲部エリア：(株)ウイング神姫様
畑・城北エリア：日本交通(株)様

9. ミーティングポイント ※令和7年3月末時点

福住・日置エリア：141か所
村雲・雲部エリア：119か所
畑・城北エリア：121か所
城下町エリア：15か所



デマンドバスの運行体制



デマンドバス導入車両

★トヨタハイエースグランドキャビン（福住・日置、村雲・雲部）

車外



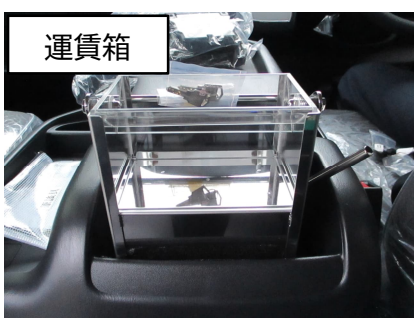
手すり、ステップ



車内



運賃箱



運転士用タブレット
取付箇所



防犯カメラ



★タクシー車両（畑・城北）



デマンドバスの利用方法

① 呼ぶ

【電話、またはアプリ・LINEで予約】

電話・アプリ・LINEで「乗る場所／降りる場所」、「ご希望の出発時間」、「乗車人数」を指定して予約！
予約が取れたら、乗車時間等をご案内いたします。

電話



専用オペレーター
9時～15時
予約受付

アプリ



専用アプリ
24時間365日
予約受付

LINE



市公式アカウント
24時間365日
予約受付

② 待つ

【乗り場で待機】

乗り場には右のような目印があります。
予約した時間に、指定の場所でお待ちください。
※到着時間は変動するので、早めにお待ちください。



③ 乗る・払う

【乗車・お金を払う】

乗務員に「予約番号」を伝えて、乗車します。
運賃は乗車時に現金でお支払いをお願いします。
※予約番号は、登録した電話番号の下4桁
※車内で両替はできません。おつりのないようご準備をお願いします。



ミーティングポイントの種類

◆丹波篠山市では様々なタイプのミーティングポイントのサインを設置しており、設置する場所の特性に合わせて設置

◆ミーティングポイントについては公共施設・集会所・商業施設・病院などの日常の移動目的となる施設を中心に設置



置き型
(サインタワータイプ)



置き型
(バリアポップタイプ)



景観型
(重要伝統的建造物群保存地区タイプ)



コミュニティバス
標柱利用型



看板型



路面シート型

- ◆各自治会の自治会長会等で説明会を開催
- ◆市広報誌への掲載やパンフレットを各戸に配布して周知
- ◆運行開始セレモニーの実施 ◆大学と連携してデマンドバス試乗会の開催
- ◆高齢者大学、地域福祉会議で説明会の開催
- ◆個別サポートにより地域の集会等で利用方法の説明会の開催
- ◆市民に親しまれやすい愛称を公募に決定し、オリジナルデザインの作成

[illegible]

電話する

☎079-555-6503

受付時間
平日 9時～15時
※祝日・年末年始は 9時～15時

① 予約受付
※お電話にて
ご予約ください

② 予約完了
※お電話にて
ご予約ください

③ 当日
※お電話にて
ご予約ください

④ 利用開始
※お電話にて
ご予約ください

予約受付

① 予約受付
② 予約完了
③ 当日
④ 利用開始

⑤ 予約受付
⑥ 予約完了
⑦ 当日
⑧ 利用開始

予約受付

① 予約受付
② 予約完了
③ 当日
④ 利用開始

⑤ 予約受付
⑥ 予約完了
⑦ 当日
⑧ 利用開始

① 予約受付
② 予約完了
③ 当日
④ 利用開始

⑤ 予約受付
⑥ 予約完了
⑦ 当日
⑧ 利用開始

※本会の活動はボランティア活動に支えられています。

※本会の活動はボランティア活動に支えられています。

月の乗り方

① 予約受付
② 予約完了
③ 当日
④ 利用開始

⑤ 予約受付
⑥ 予約完了
⑦ 当日
⑧ 利用開始

乗車券

① 予約受付
② 予約完了
③ 当日
④ 利用開始

⑤ 予約受付
⑥ 予約完了
⑦ 当日
⑧ 利用開始

乗車券

① 予約受付
② 予約完了
③ 当日
④ 利用開始

⑤ 予約受付
⑥ 予約完了
⑦ 当日
⑧ 利用開始

乗車券

① 予約受付
② 予約完了
③ 当日
④ 利用開始

⑤ 予約受付
⑥ 予約完了
⑦ 当日
⑧ 利用開始

愛称オリジナルデザイン

The image shows a white van with a blue roof and blue accents. The text 'TAMBASASAYAMA' is written in black on the side of the van. Below it, the text 'めり～な' (Meri~na) is written in blue, accompanied by a small green character. The van is parked on a road with cherry blossoms in the background.

11月運行開始の新たな交通に、先行試乗できます！

10月30日（水）福祉地区 「のーと」篠山

体験会のお知らせ

定員：10名程度

- 実施日 2024年10月30日（水）
- 実施時間 9時30分～12時頃（予定）
- 集合場所 多紀室で（事前に住所をお知らせいただければ、ご自宅まで（のーと）でお迎えに参加します）
- 交通内容 11月号よりスタート開始される予約型の新たな交通（のーと）に先行試乗ができます。登録や予約の方法は、大学生が全力でサポートします！

【必ず参加したい方々です】

- ふだん、車に乗る方々
- バスのない生活を送るお友達を乗せてあげたい方
- そろそろ、運転免許の送附かな考えている方と一緒に

【対象者】 小学生以上、高校生以下の方（中学生は保護者の同意が必要）

【10月30日（水）のーと体験会のスケジュール】

- 09:30 のーとにて参加者ののーとに各自乗りこみ
- 09:30 多紀室到着、登録・乗降の手順の説明
- 10:00 のーとを使って城下町エリヤまで移動
“スーパー・ハイウェイ”なる商業施設を見学し1台ずつ移動
- 11:00 ご自身ののーとを予約
- 11:30 多紀室へ戻り、のーと外りと意見交換
- 12:20 解散 のーとを予約し、自宅までお送り

*希望定数の都合で、のーとと乗降回数などができない場合は別の車両等によって対応いたします。

お問い合わせ先：078-411-8181（北沢大学学生コミュニティ・センター）
北沢大学 コミュニティ・デザイン学部・健康福祉学科 社会福祉学系 福祉政策学専攻 福祉政策学研究室（講義）
〒680-0001 和歌山県和歌山市大田町1-1-1 北沢大学 福祉政策学専攻 福祉政策学研究室（講義）

代表者 住 所			連絡先		
代表者 氏 名			訪問場所		
参加人数	人	希望日時	第1希望	月 日 () 時 分 ~	
			第2希望	月 日 () 時 分 ~	

福住試乗会の様子

デマンドバスの利用実績

月別利用者数推移

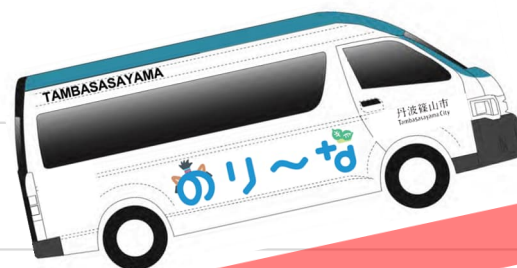
利用者数は**右肩上がり**に

増加！

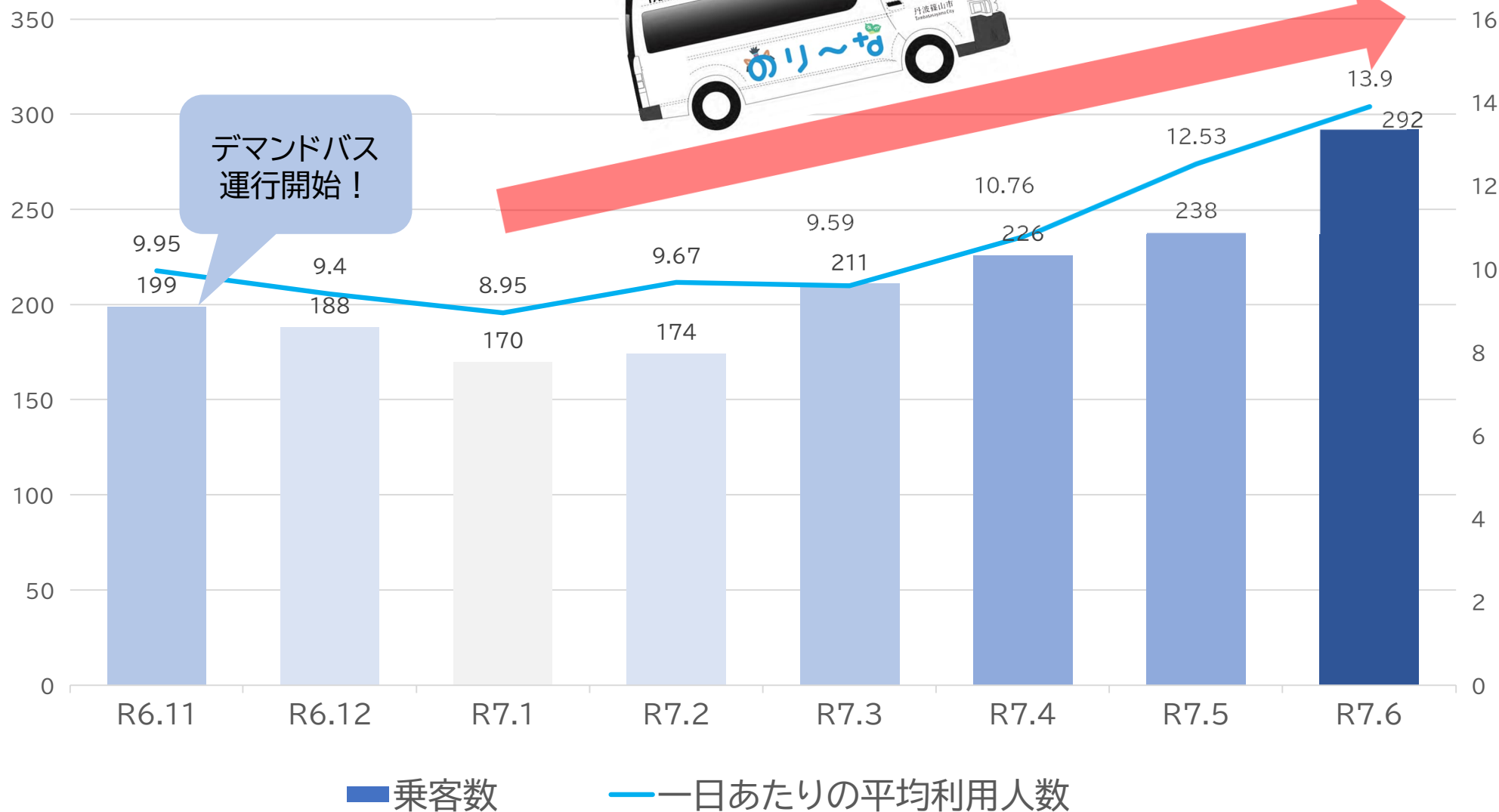
半年間で利用者が

約1.7倍増！

約100人増！



デマンドバス
運行開始！

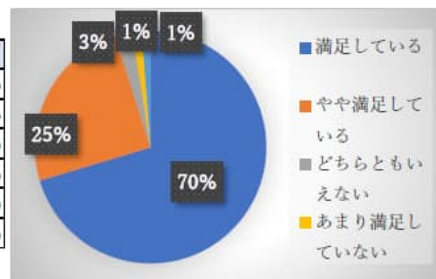


デマンドバス利用者アンケート

- ◆アンケートの実施期間は令和7年4月28日（月）～ 5月16日（金）
- ◆デマンドバスの車内及び市ホームページで実施、回答者81人

デマンドバスの満足度

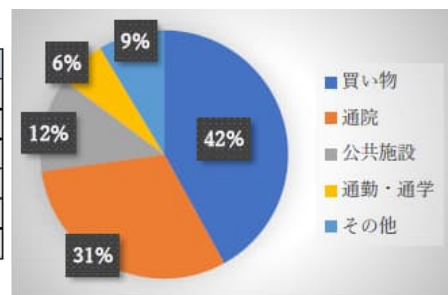
区分	人数	構成比
満足している	57	70.4%
やや満足している	20	24.7%
どちらともいえない	2	2.5%
あまり満足していない	1	1.2%
満足していない	1	1.2%
合計	81	100.0%



「満足している」「やや満足している」の計が95.1%となっており、利用者の大半の方にご満足いただけている。

利用目的

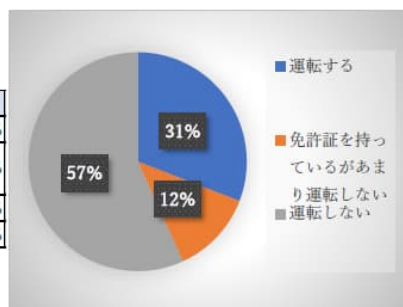
区分	人数	構成比
買い物	34	42.0%
通院	25	30.9%
公共施設	10	12.3%
通勤・通学	5	6.2%
その他	7	8.6%
合計	81	100.0%



デマンドバスは、主に買い物や通院で利用されている。
また、「通勤・通学」で利用されている方も5名おられる。

自動車利用の有無

区別	人数	構成比
運転する	25	30.9%
免許証を持っているがあまり運転しない	10	12.3%
運転しない	46	56.8%
合計	81	100.0%



デマンドバスは普段「運転しない」人が多く利用されているが、普段運転する人も31%の方が利用されている。

10人中9.5人の方に満足いただけております！！

95.1%

顧客満足度

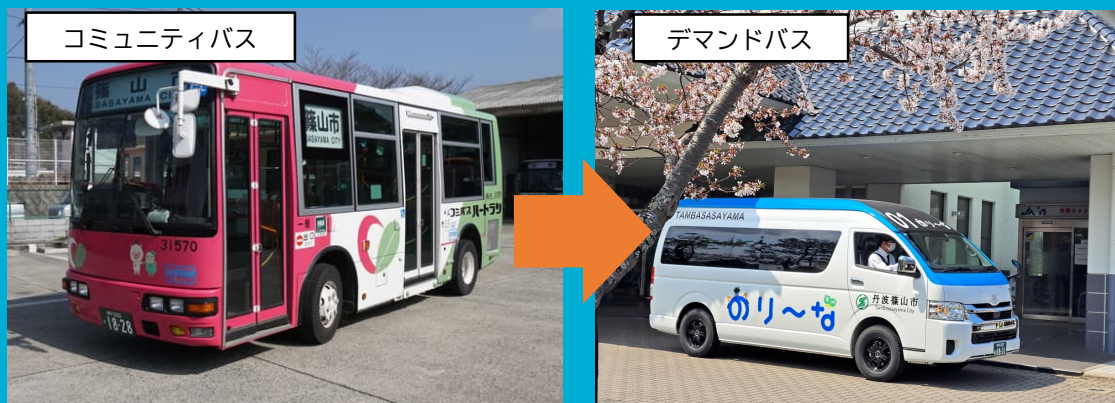
◆感謝の声もたくさんありました◆

※アンケートより抜粋

- ・ありがたいサービスで非常に助かっています。
- ・通院に利用しており満足しています。
- ・LINEで簡単に予約出来る点も助かります。
- ・運転できない者にとって一番嬉しい待ちに待ったバスです。
- ・年を重ねると何かと不便で、家にいてばかりだと嫌になるけど、デマンドバスで外出できるので楽しいです。
- ・これが出来てから、今までの不便さが嘘のように助かっています。もっとエリアが広がれば、なお嬉しいです。
- ・帰省の際、このバスを使うことができるので大変助かっています。
- ・運転士や職員の皆さんが親切で嬉しいです。

デマンドバスの運行エリア拡大について

令和7年10月頃、コミュニティバスA・Cルートに変わり、デマンドバスが運行します！



- デマンドバスとは時刻表がない予約型のバスです！
- 年齢制限も無く、市民以外の人でも自由に乗ることができます！
- 乗りたいときに電話・アプリで呼べる新しい「乗合バス」です！
- 予約の時に出発地と目的地を伝えて、あとはミーティングポイント（乗り場）へ行くだけ!!

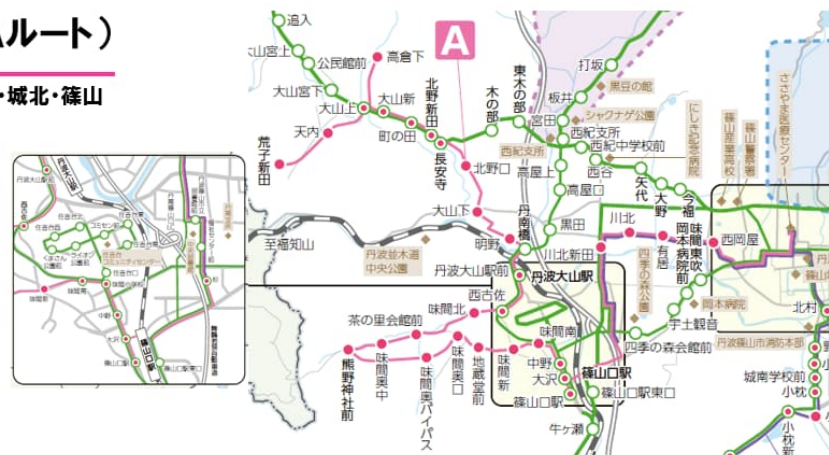


コミュニティバスの休止について

休止路線図(Aルート)

大山・味間・西紀南・岡野・城北・篠山

A ルート	200 円区間	500 円区間
荒子新田 ～丹波篠山市立図書館前	左記以外の区間	
杉～西岡屋		
西岡屋 ～ささやま医療センター		



1便あたり
2～3人

1便あたり
1～2人

ルート	1 便	2 便	3 便
「荒子新田」発～「ささやま医療センター」着	7:30	9:20	12:50
「ささやま医療センター」発～「荒子新田」着	11:40	15:40	

凡例

- ・・・コミバスAルート
- ・・・路線バス
- ・・・コミバス停留所

休止路線図(Cルート)

今田・古市・城南・西紀南・城北

C ルート	200 円区間	500 円区間
黒石上～当野口	左記以外の区間	
栗栖野 ～ささやま医療センター		
丹波篠山市役所～西岡屋		
西岡屋～杉		

※フリー乗降区間(本荘公民館～黒石上)では停留所以外でも乗降可



ルート	1 便	2 便
「黒石上」発～「杉」着	7:35	12:30
「黒石上」発～「ささやま医療センター」着	9:40	
「杉」発～「黒石上」着	11:00	15:10

凡例

- ・・・コミバスCルート
- ・・・路線バス
- ・・・コミバス停留所

現在運行しているコミュニティバスは令和7年10月頃に休止し、代わりにデマンドバスを導入します。

★コミュニティバスの利用実績

利用者数(人)	R2	R3	R4	R5	R6	1日あたりの乗車人数
Aルート	2,299	2,586	2,414	2,721	2,679	10.38
Cルート	2,095	2,279	1,974	1,993	1,913	7.41
計	4,788	5,441	4,982	5,387	5,066	6.96

ルート名	出発地	出発時刻	R6乗車人数
Aルート	荒子新田 発 ～ ささやま医療センター 着	7:30	635
		9:20	577
		12:50	287
	ささやま医療センター 発 ～ 荒子新田 着	11:40	695
Cルート	黒石上 発 ～ 杉 着	7:35	474
		9:40	400
		12:30	325
	黒石上 発 ～ ささやま医療センター 着	11:00	373
		15:10	341

★コミュニティバスとデマンドバスの比較

項目	メリット	デメリット
コミュニティバス	・予約不要 ・料金が安価 ・決まった時刻に決まったルート走る。	・時刻表に合わせて行動する必要がある。 ・バス停で乗降しなければいけない。 ・運行ルートが決まっており、目的地まで時間を要する。
デマンドバス	・随時運行しているため、自分の都合に合わせて行動できる。 ・自宅近くの乗り場から乗降可 ・目的地まで最適なルートで運行する。	・必ず予約が必要 ・予約がたくさん入っているときは、目的地までの間で、複数の人を乗せて目的地に行くため、若干到着時間が遅れる可能性がある(最大20分ほど)

丹波篠山市がA I デマンド交通に取り組む目的について

★丹波篠山市版MaaS推進事業「SasayaMaaS（ササヤマース）」の推進

MaaSとは

「MaaS（「マース」 Mobility as a Service）」とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済を一括で行うサービスであり、ICTの発達を背景にした次世代の移動サービスとして今後の地域課題解決にも資する重要な手段となることが期待されています。

MaaSに取り組む背景

丹波篠山市では高齢化に伴う免許返納者の増加、運転士不足の深刻化に伴い、移動困難者が今後ますます増えていくことが懸念されています。限られた交通資源を有効活用しながら、市民の移動手段の維持・確保を図る手段としてAIデマンドバスをはじめとしたMaaSを活用することで、最小限の人員で最大の輸送が可能となります。

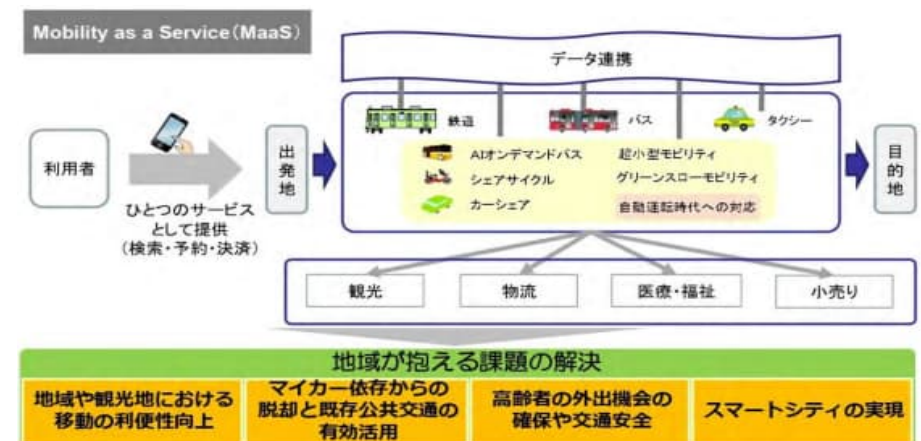
デマンドバスは持続可能な地域公共交通を構築し、利用者の拡大及び車両の運行効率を図ることを目的としており、特に、AIデマンドバスの導入は、予約や配車をAI技術により運行経路を最適化することで、運行効率の向上や利用者の利便性向上が期待されています。この仕組みは、需要の変動に柔軟に対応し、過疎地や高齢者の多い地域においても、効率的な交通サービスを提供できるため、持続可能な交通の実現において重要な役割を果たすと考えられます。

丹波篠山市では、AIデマンドバスの導入をMaaS推進のきっかけとし、今後のMaaS全体の展開を計画的に進めていきます。

今後展開していく事業（予定）

- ・ AIデマンドバスの運行エリアの拡大
- ・ ICカードやQRやタッチ決済、顔認証等の新たな決済手段の導入によりキャッシュレスによるシームレスな移動の実現
- ・ マイナンバーカード認証基盤と連携した新たな運賃施策等の実施
- ・ グリーンスローモビリティの活用方法の見直し
- ・ 公共交通機関間の乗継割引制度の推進
- ・ 地域公共交通のオープンデータ化の推進

など



市のデマンドバスの考え方

丹波篠山市では、通院や買い物など、暮らしを支える身近な生活交通としてデマンドバスを運行します。

デマンドバスは路線バスやタクシーがほとんど運行していない交通が不便な地域で走ることを基本としています。

中心部の篠山口駅と城下町の間は、路線バスの便数が多く、タクシーもたくさんあるのでデマンドバスの運行は行いません。

デマンドバスは、周辺エリアから市中心部の交通結節点まで送迎し、鉄道や路線バスなどの広域基幹交通への乗り換えを促進します。

交通結節点は「篠山口駅」か「城下町」のどちらか近いほうのエリアまで送迎します。



市外や長距離の移動については、鉄道や路線バスへの乗り継ぎを促し、生活交通としてはタクシーのように「トアトウトア」ではなくミーティングポイント方式とすることで、他の公共交通機関との住み分けを行います。

既存の鉄道や路線バス、タクシーと住み分けや役割分担を行いながら、持続可能な交通ネットワークを構築していきます。

運行エリア拡大全体イメージ

丹波篠山市 公共交通 MAP

デマンドバス

丹波篠山市コミュニティバス

フリー乗車区間

コミバス バス停

ウイング神姫

ウイング神姫 バス停

京阪京都交通

京阪京都交通 バス停

JR 福知山線

市町村運営有償運送
(交通空白輸送)

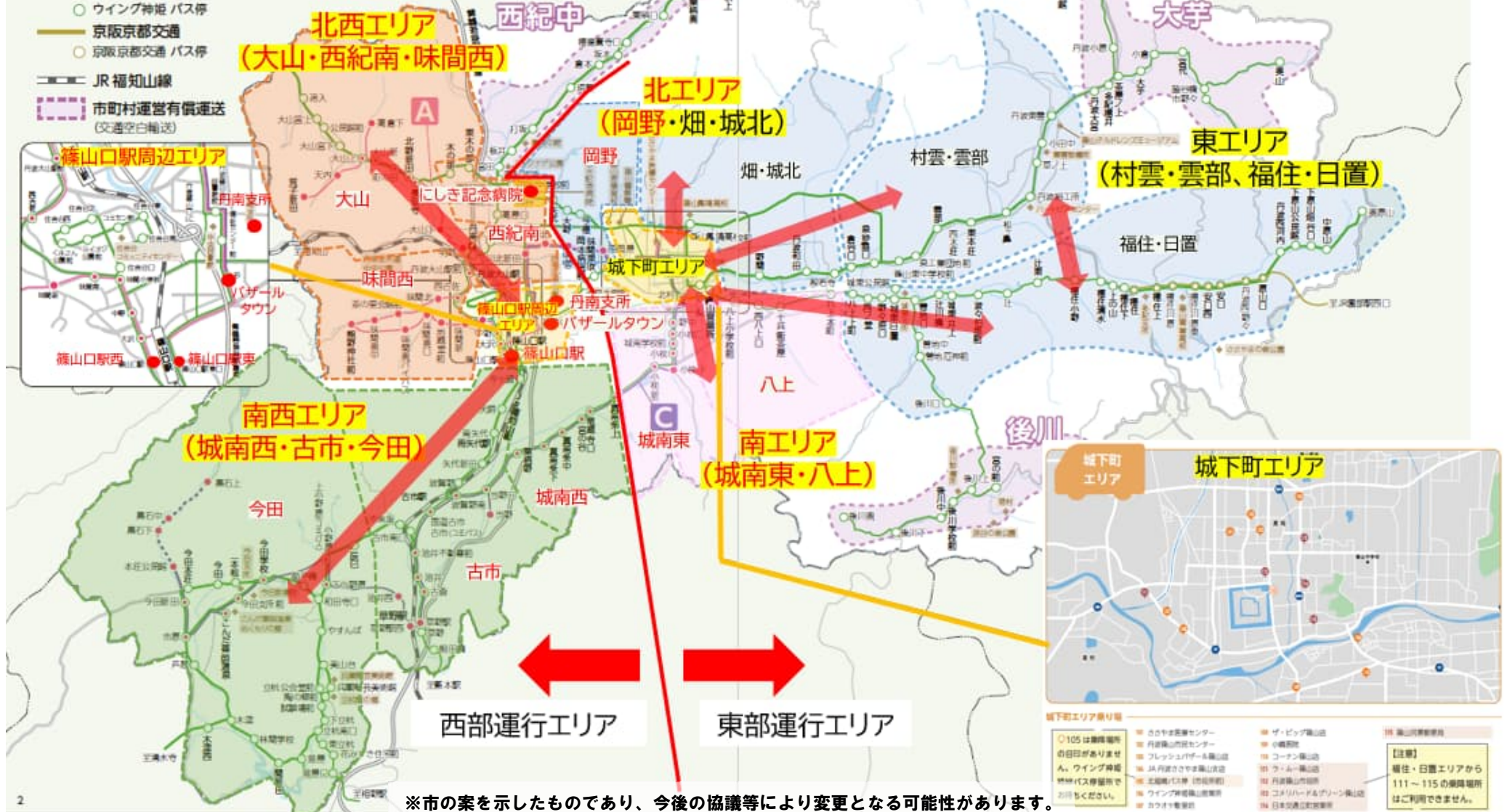
乗り方

乗車の合図は、道路の左側の安全な場所で、早めに手を挙げて合図してください。

降り方

降車の合図は、降車場所の50m くらい手前で停車ボタンを押してください。

デマンドバスは同じエリア内や交通結節点となる市の中心部(城下町 or 篠山口駅)までの移動が可能



※市の案を示したものであり、今後の協議等により変更となる可能性があります。

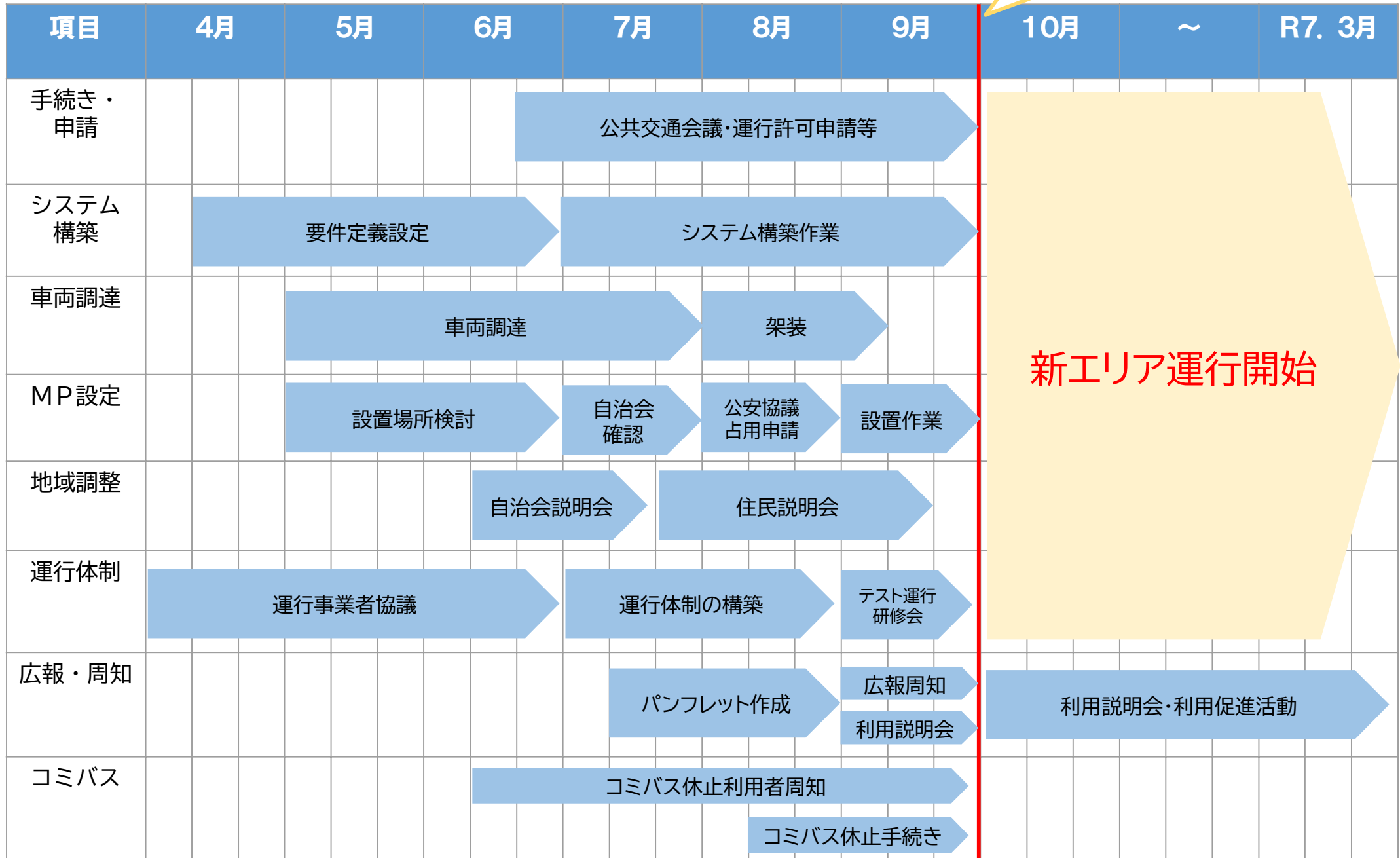
デマンドバス運行エリア拡大の概要

概 要

項 目	内 容
実施主体	丹波篠山市
エリア拡大運行開始日	令和7年10月頃
運行時間	8:00～16:00
運行日	週5日（月・火・水・金・土） ※木曜日、日曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3）は運休
運行事業者	（株）ウイング神姫、日本交通（株）
事業許可	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
対象エリア	大山・西紀南・味間・古市・今田・城南・八上・岡野
使用車両台数	ミニバン車両2台（定員6人） ※岡野は現行のタクシー車両で対応
乗降拠点設置箇所数	230箇所 ※未確定
運賃設定	エリア内 1乗車 200円（大人） エリア外 1乗車 500円（大人） ※ 未就学児は無料、小学生・障がい者及び介助者（1人まで）は半額 ※「篠山口駅」「ウイング神姫篠山営業所」で乗降した場合は、乗継割引を適用し「500円」のところを「200円」とする。
予約方法	電話、アプリ、LINE

デマンドバスエリア拡大スケジュール

最短で10月1日
運行開始を目標



※市の考えを示したものであり、関係者との協議によっては変更になる可能性があります。

「交通空白」解消緊急対策事業

1 補助金の概要

「交通空白」の課題がある地域において、「公共ライドシェア」や「A I デマンド」、「乗合タクシー」等の「交通空白」の解消に向けたサービスを実施するための仕組みの構築を支援する事業

2 公募期間

令和7年3月10日から令和7年4月7日

3 丹波篠山市が実施する事業

丹波篠山市内の「交通空白」を解消するため、コミュニティバスAルート・Cルートに変わる新たな乗り物として、「A I デマンドバス」を導入する。

4 申請する補助金のメニュー

- ①補助金名
地域公共交通確保維持改善事業等補助金
- ②補助メニュー
「交通空白」解消緊急対策事業
- ③補助対象経費
実証運行に係る車両・配車システム、車両改装、データ分析費用等
(丹波篠山市が申請する内容)
 - ・システム構築委託料
 - ・車両購入及び車両改装費用
 - ・運行委託料及びシステム利用料
 - ・パンフレット作製費用等

5 補助率及び補助申請額

500万円までは定額、超える部分の2/3を補助（上限1億円）

【丹波篠山市】

★補助対象経費：約5000万円、補助決定額：約3500万円

6 補助事業期間

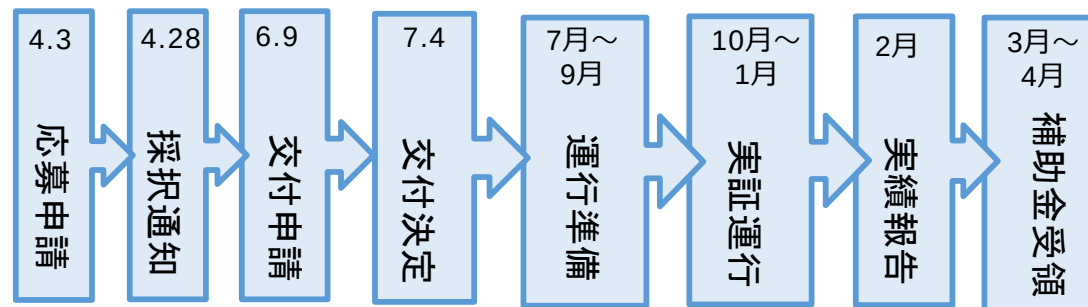
補助金交付決定日から令和8年2月27日まで

7 内 容

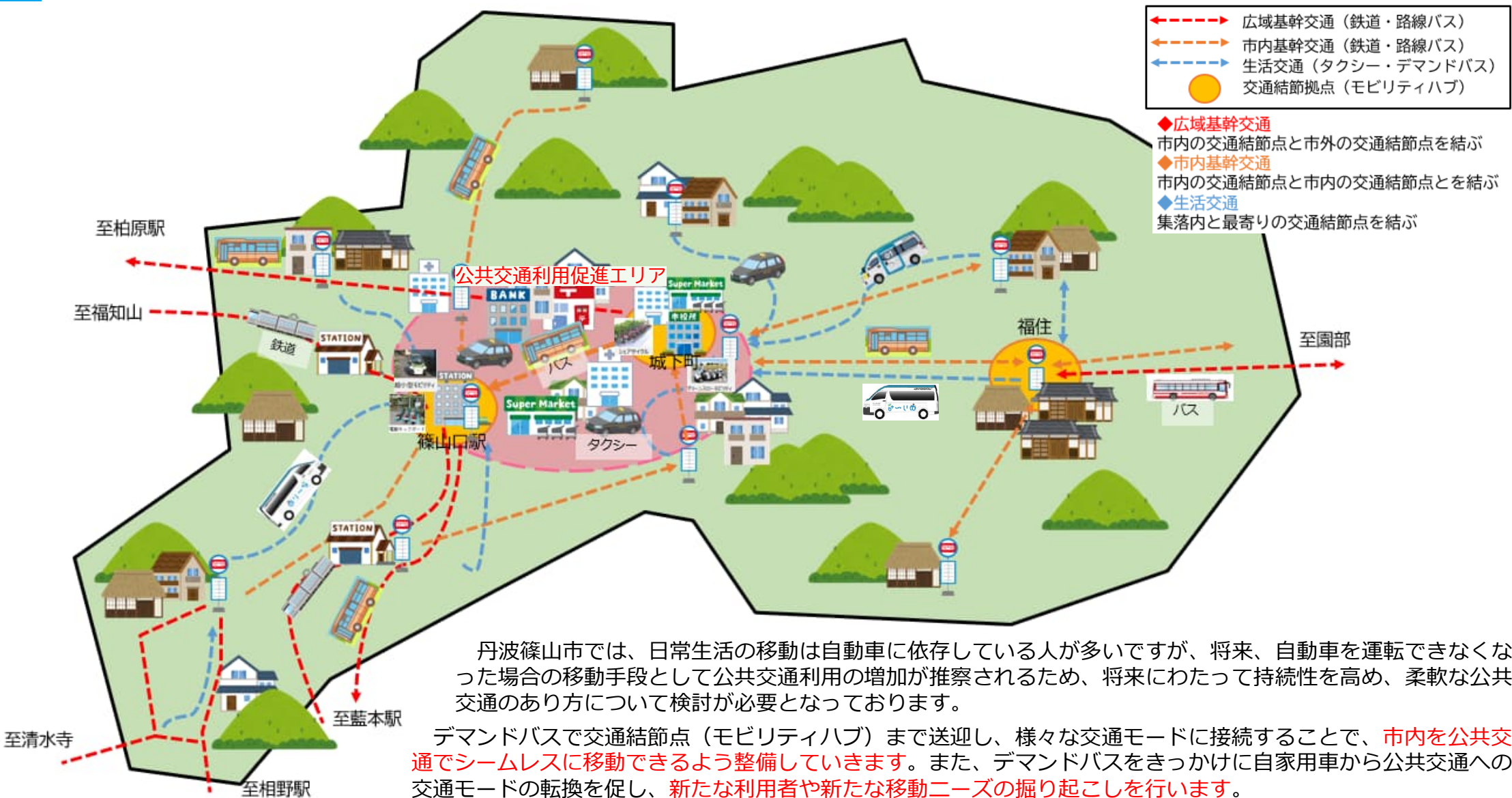
コミバスではカバーできない「交通空白」の解消策として、きめ細かに停留所を設置できるミーティングポイント型A I デマンドバスへの転換を行う。

- ・地域公共交通会議における課題解決に向けた最適な手法の協議
- ・既存の公共交通との乗り換えを可能にする公共交通ネットワークの強化
- ・地域の要望に沿った停留所の設置
- ・実証運行及び利用者アンケートによる効果検証

8 スケジュール



市の目指すべき将来の公共交通ネットワークの考え方



そして、中心市街地への自家用車（マイカー）の流入を抑え、鉄道・バス・タクシーなどの既存公共交通への乗り換えを促します。また、拾いきれない細かなニーズに対しては、新たなモビリティ（シェアサイクル、グリーンスローモビリティ等）で対応することで、地域で暮らす住民の多様な移動ニーズにも対応します。

それぞれの公共交通機関が役割分担を行い、連携・協力しながらデマンドバスをきっかけとした持続可能な交通ネットワークを構築し、地域公共交通を維持・形成しながら共存共栄を図っていきます！

ご清聴ありがとうございました



(丹波篠山市篠山伝統的建造物群保存地区)



(丹波篠山市の夏の風物詩 デカンショ祭)